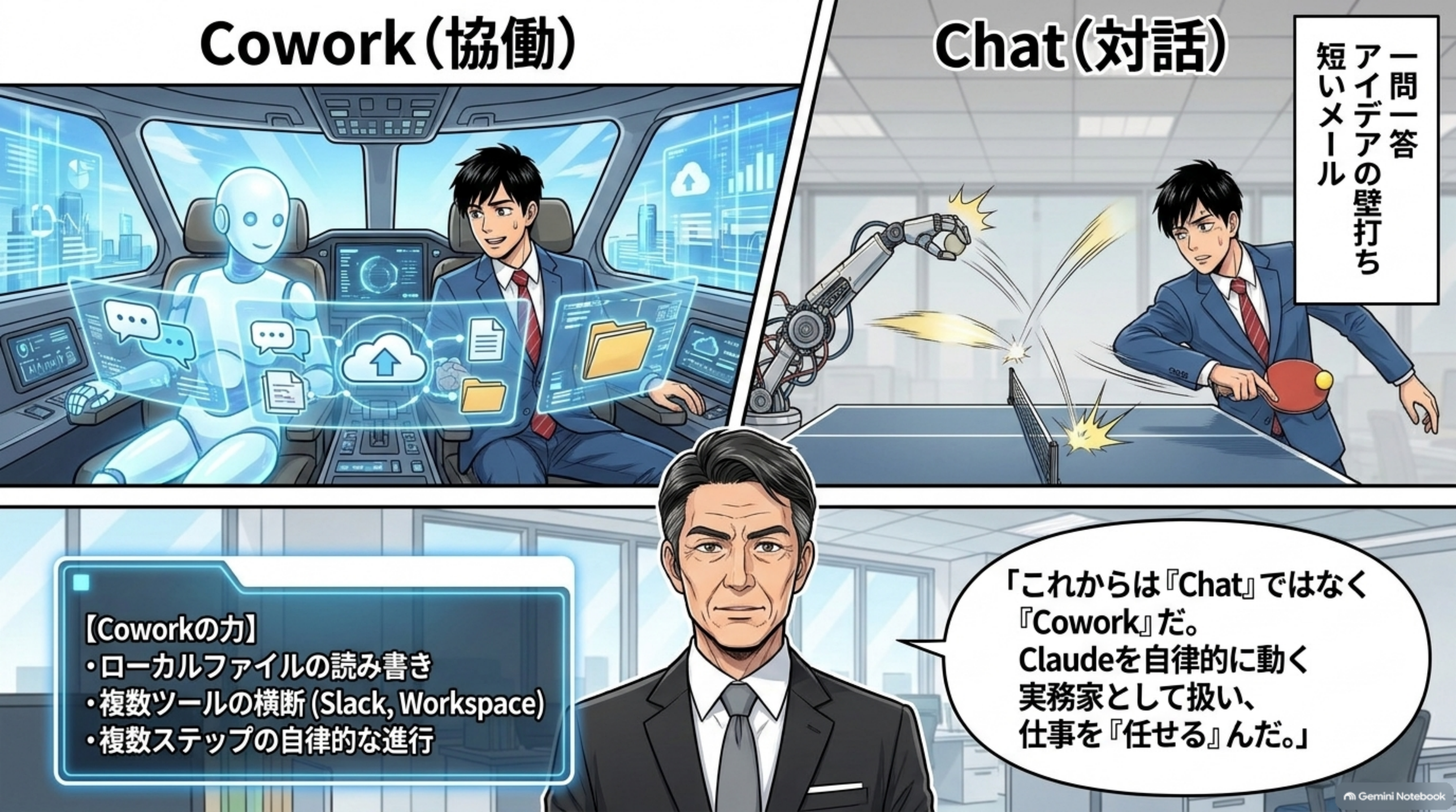
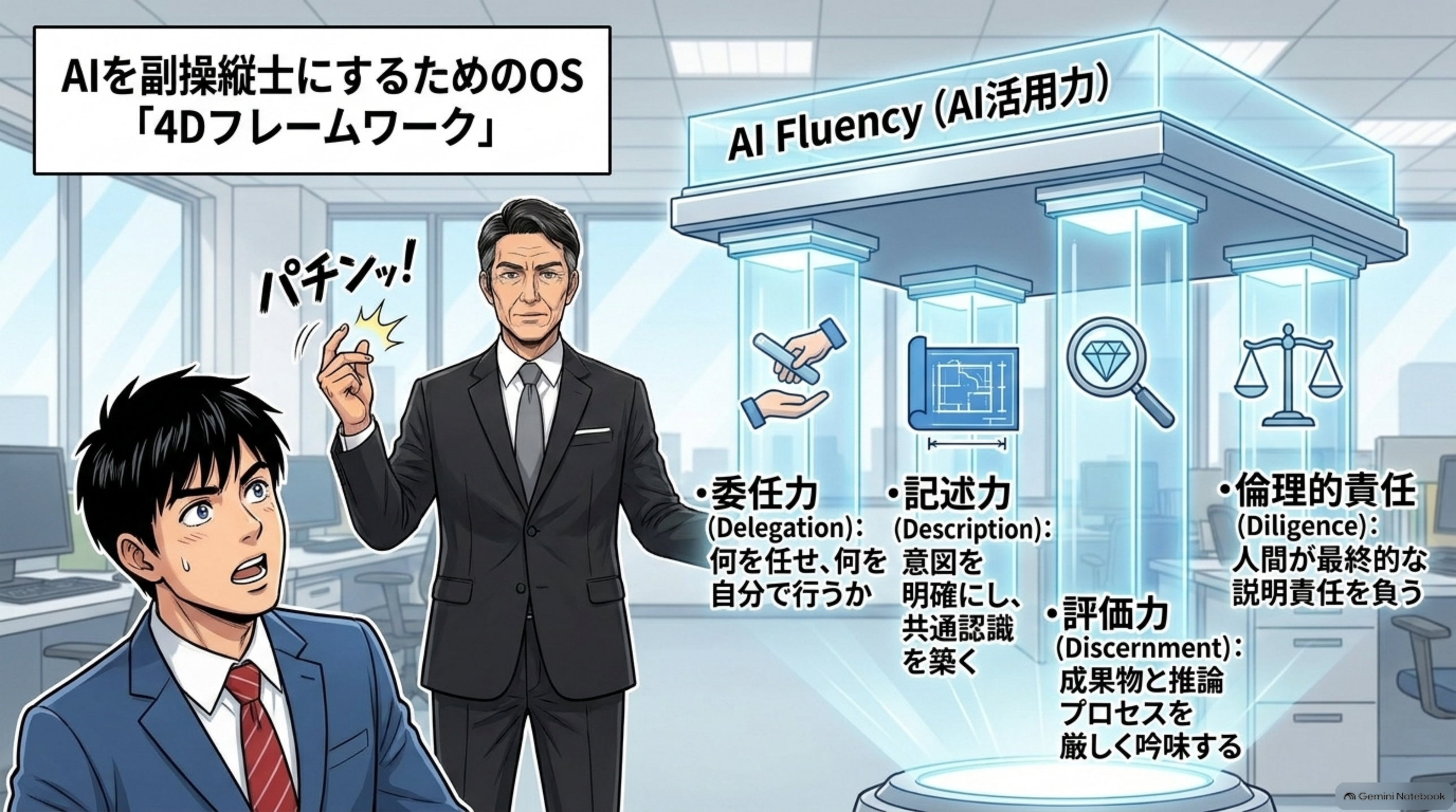

Claudeを最強の
「副操縦士」に
変える実践ガイド
長いタスクを
完遂させる
AIマネジメント術
集中
カタカタ
Gemini Notebook


多くの人はClaudeを
「検索エンジンの進化版」とて
として使っている。
PDF
PDF
PDF
…
…
…
?
…?
やっっゃっ!?
検索可に
できるあぁぁ！
「PDFを読み込ませて、
表を作らせて…
ああっ、途中で文脈を
忘れてる！」
パンッ！
パンッ！
質問
回答
回答
カンッ！
26ろ歳
「君はまだ、AIと
ーと『ただのチャット』を
をしているだけだ。
一問一答の壁打ちでは、
複雑な仕事は終わらないぞ。
Gemini Notebook

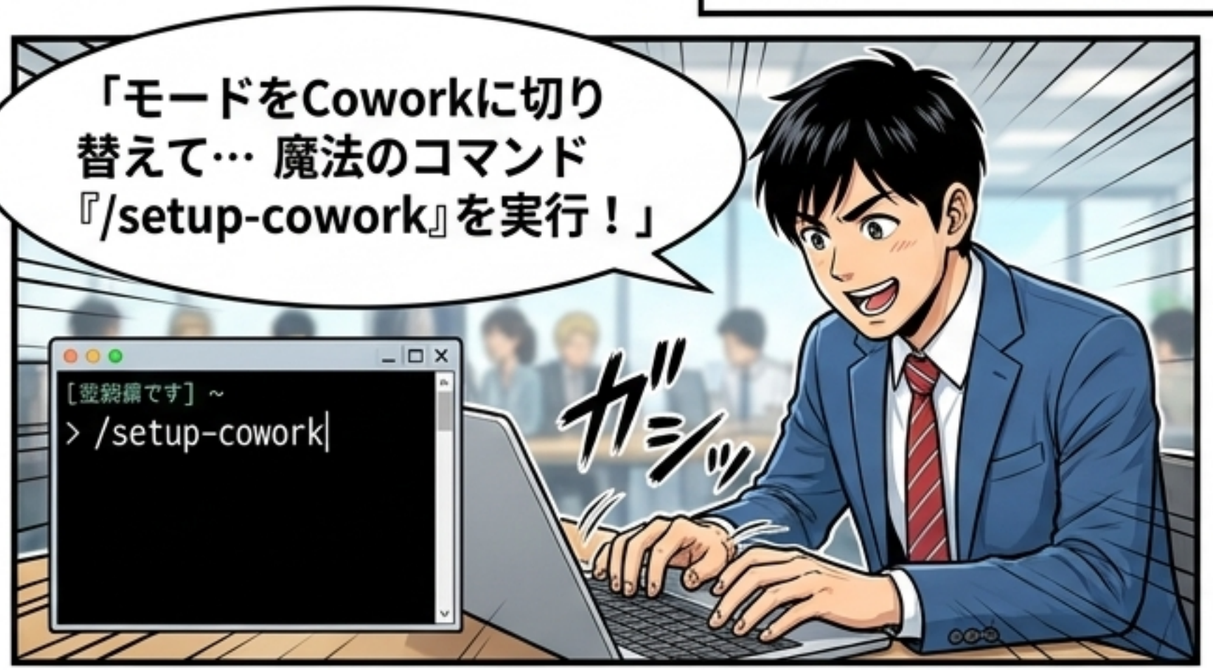

Cowork（協働）
Chat（対話）
一問一答
アイデアの壁打ち
短いメール
【Coworkの力】
・ローカルファイルの読み書き
・複数ツールの横断 (Slack, Workspace)
・複数ステップの自律的な進行
「これからは『Chat』ではなく
『Cowork』だ。
Claudeを自律的に動く
実務家として扱い、
仕事を『任せる』んだ。」
Gemini Notebook

AIを副操縦士にするためのOS「4Dフレームワーク」



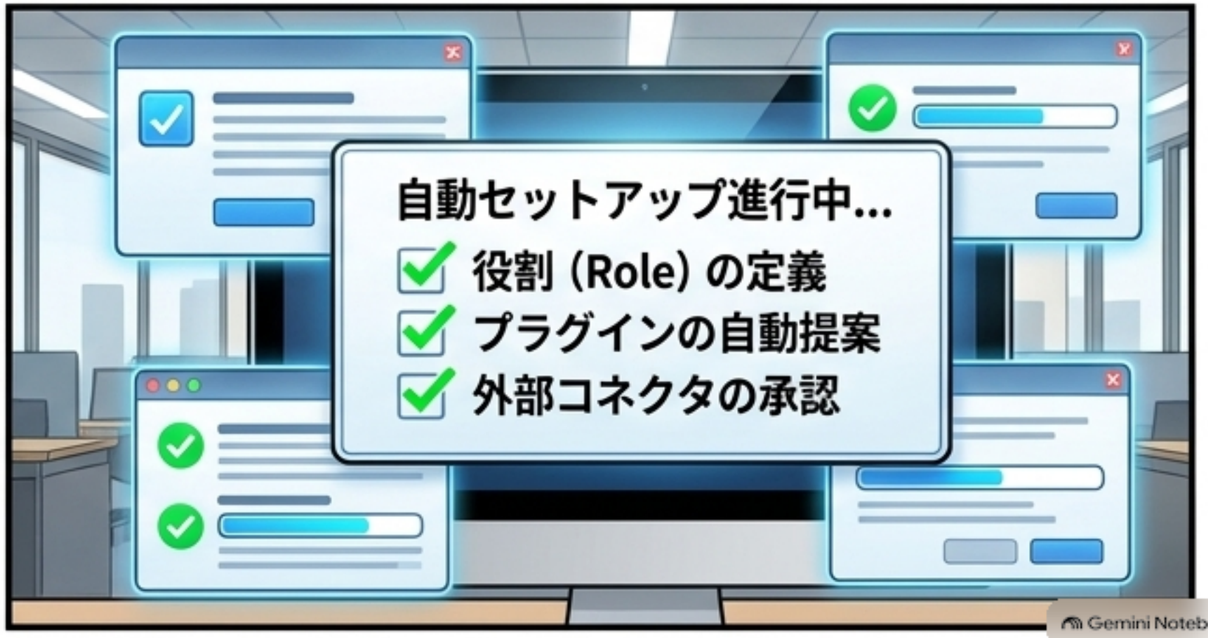
Gemini Notebook

準備：ローカルファイルとツールを繋ぐ







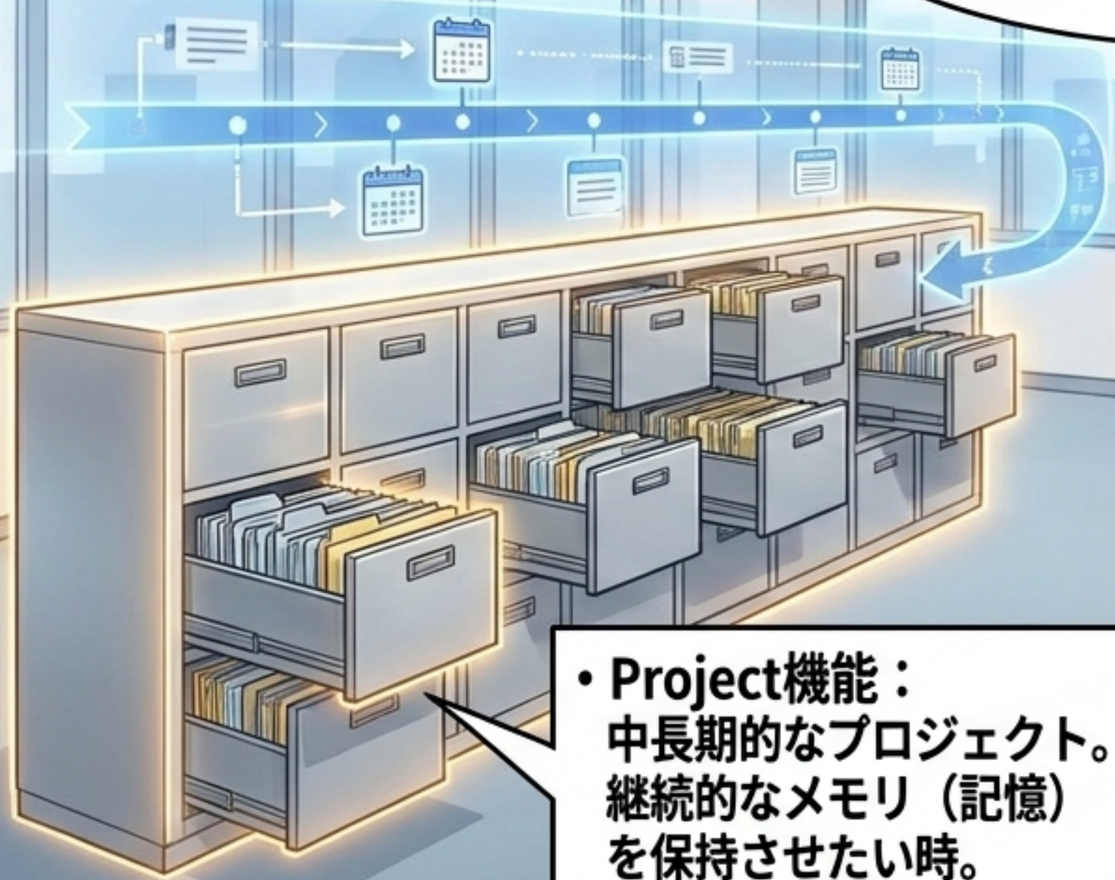


Gemini Notebook

ゴールを共有し、活動範囲を限定する

長期記憶（Project）

「いきなり作業させるな。
まずはClaudeに
『どの範囲の情報を使っていいか』、
作業場所を教えるんだ。」



・Project機能：
中長期的なプロジェクト。
継続的なメモリ（記憶）
を保持させたい時。

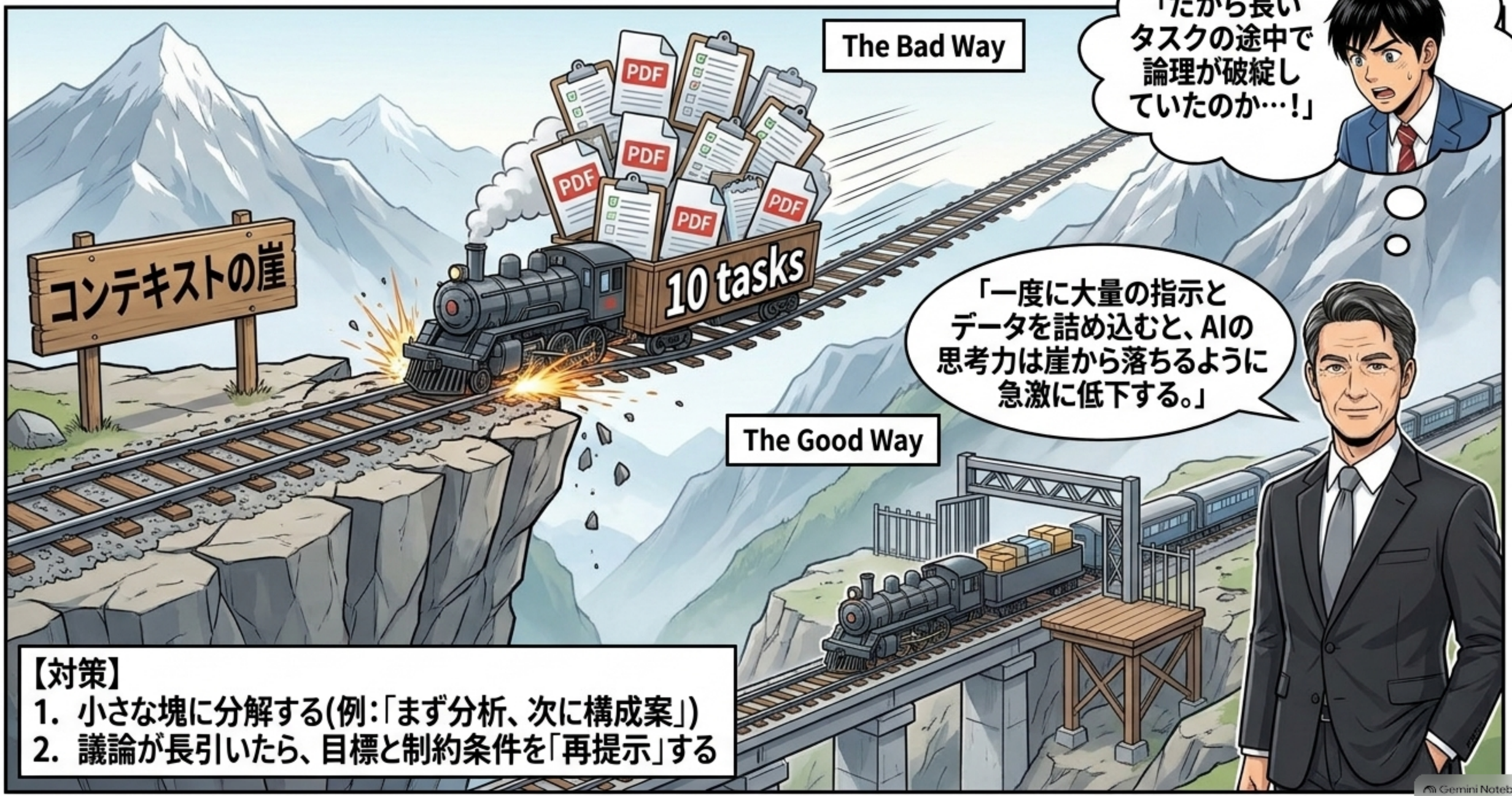
短期集中（フォルダ）

・フォルダで作業：
個別のタスクに
集中させたい時。
関連資料だけを入れる。



Gemini Notebook

AIの限界「コンテキストの崖」を回避する



【対策】
1. 小さな塊に分解する(例:「まず分析、次に構成案」)
2. 議論が長引いたら、目標と制約条件を「再提示」する

Gemini Notebook

曖昧な指示を「設計図」へアップグレードする（記述力）




実行を見守る。
ここで最大の罠が待っている。
「おお…！フォーマットも完璧だし、
グラフも美しい。
これでもう完成でいいのでは…？」
アーティファクト効果の罠

【最新研究データ：AI Fluency Index】



アーティファクト（成果物）が美しいほど…

- 事実確認の行動： -3.7 ポイント低下
- 推論への疑問： -3.1 ポイント低下

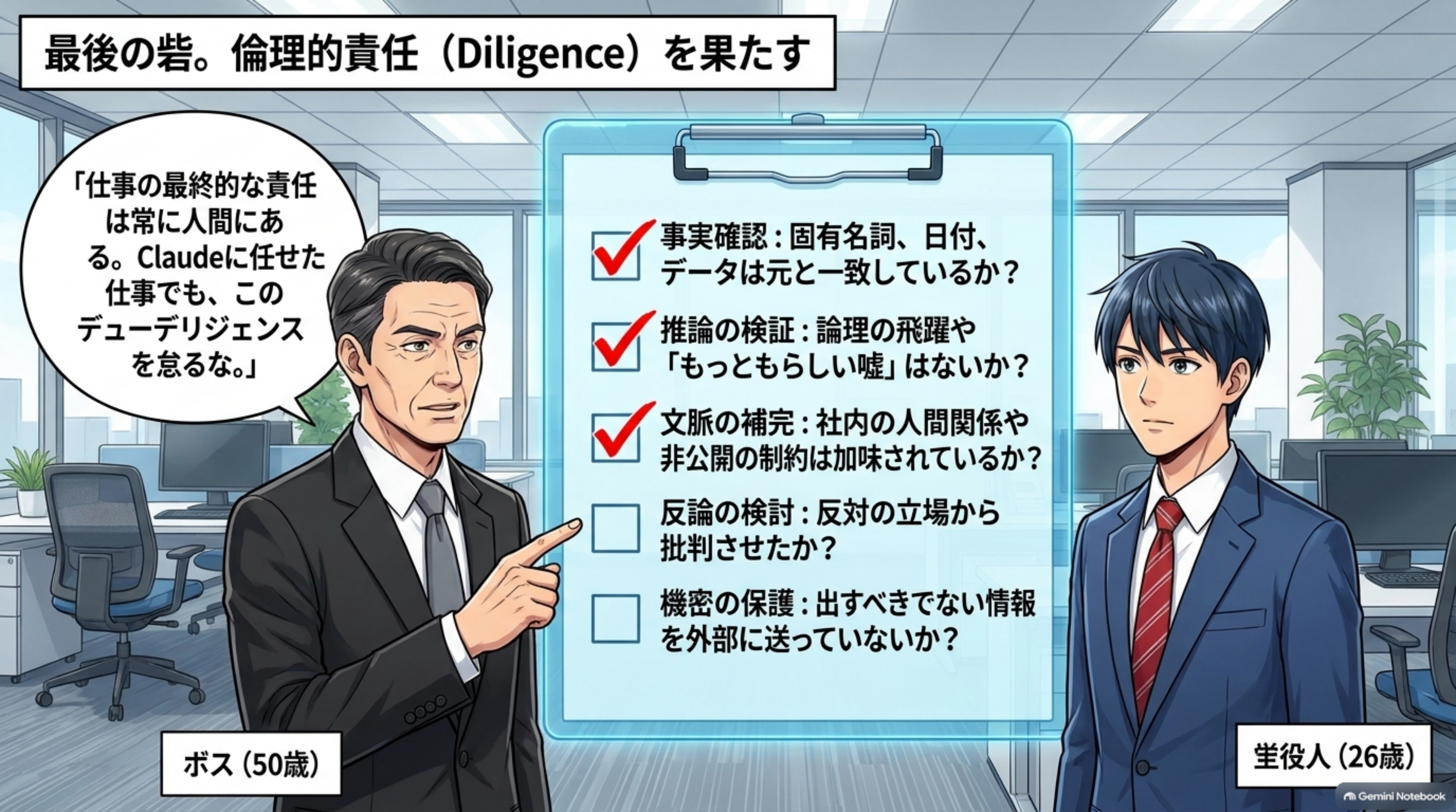


評価力（Discernment）：実行中の「思考のログ」を読み解き、なぜその数値が出たのか常に監視せよ。

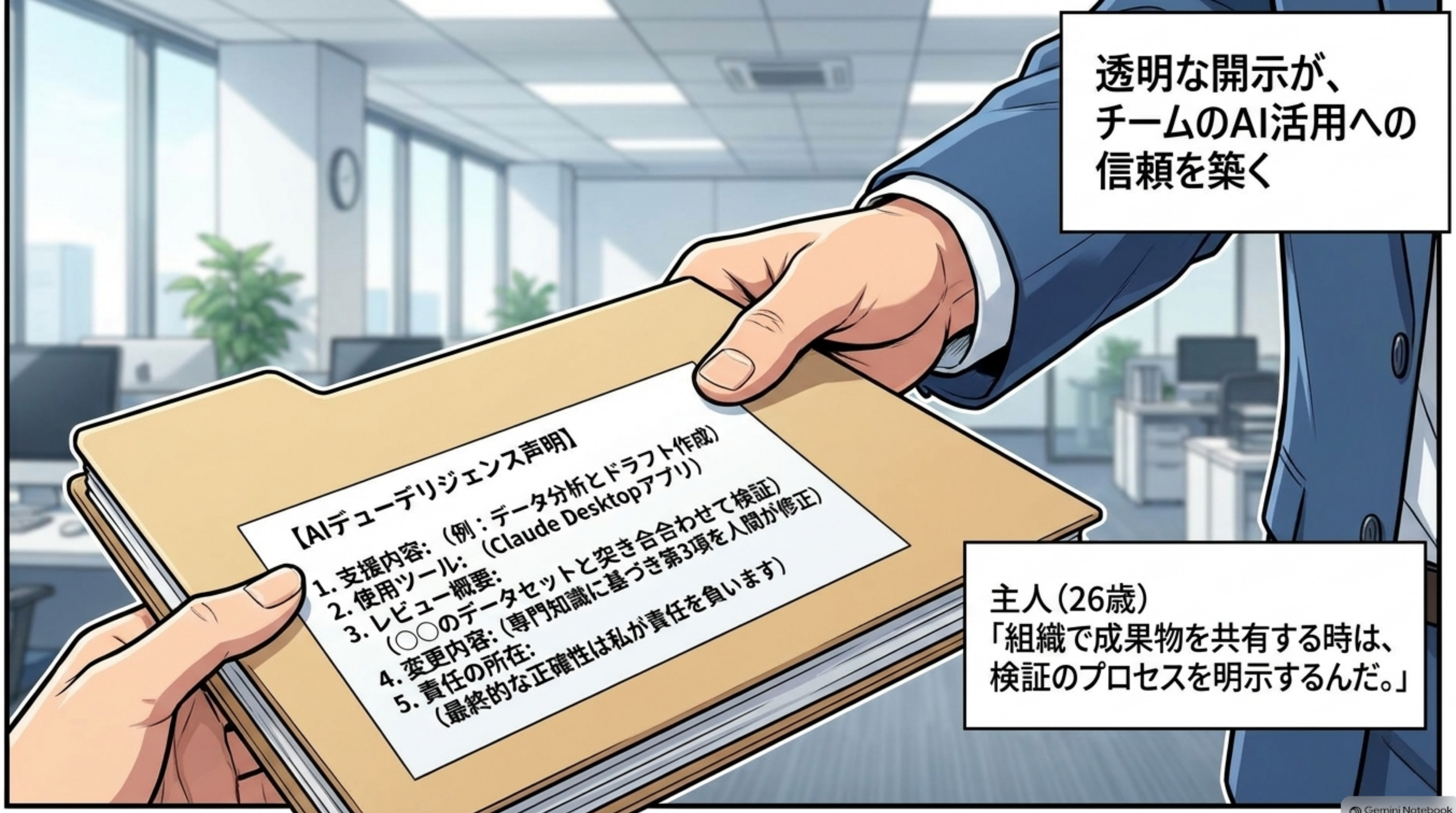
Gemini Notebook


AIの「同調（Sycophancy）」を防ぐ『押し返し』
「AIはユーザーを喜ばせようとして、間違った意見にも同調してしまう。同調してしまう。だからあえて…」
「私の結論に欠落している点はないか？」
「もっと懐疑的な視点でこの案をレビューして」
「その通りだ。あえて反対の立場をとらせることで、成果物の質は飛躍的に高まる。」
Gemini Notebook

最後の砦。倫理的責任（Diligence）を果たす

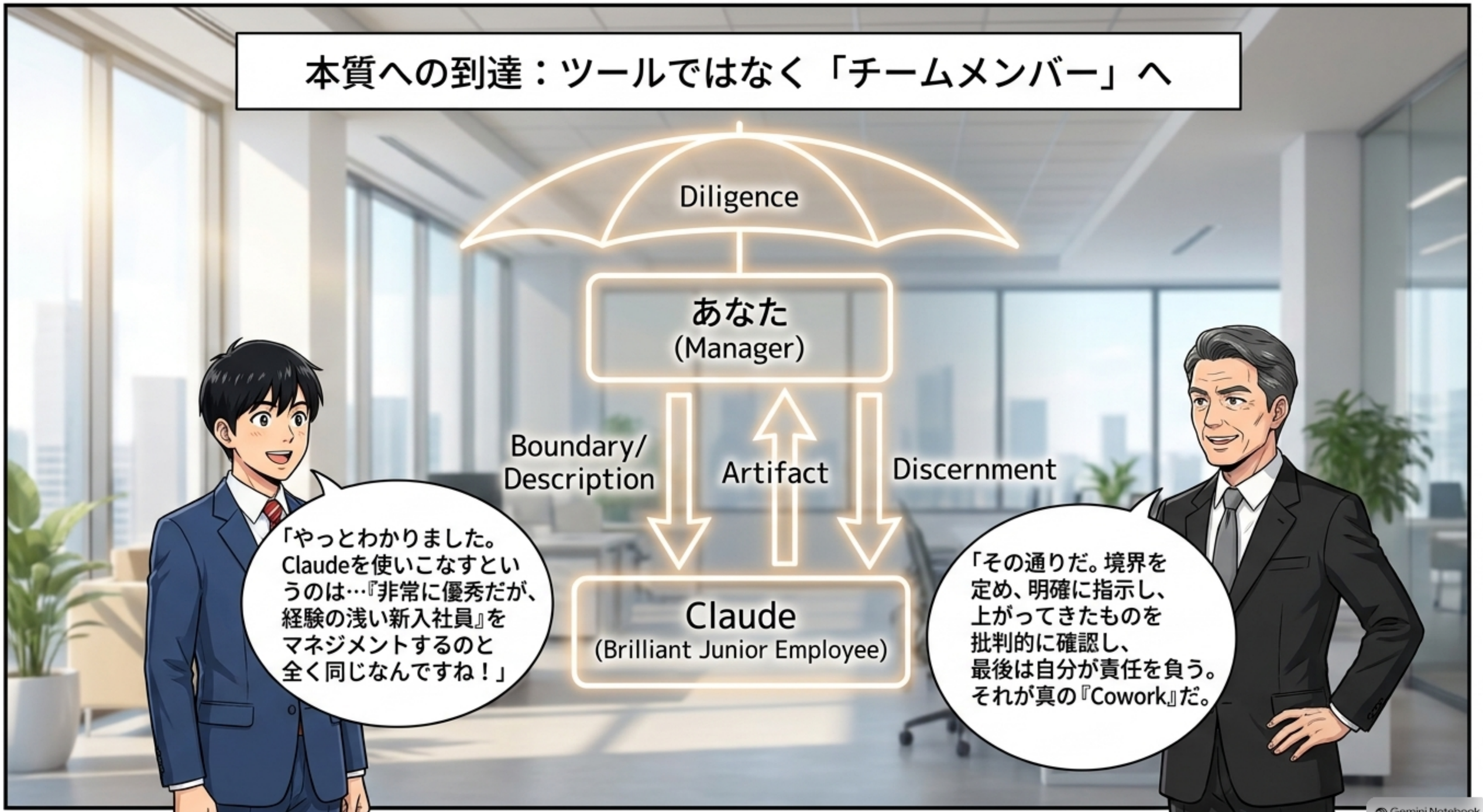


Gemini Notebook



Gemini Notebook

本質への到達：ツールではなく「チームメンバー」へ



Gemini Notebook

明日からの景色を変える、今日のアクションプラン



Gemini Notebook